

\*\*\*\*\*  
第21回 町田市交通マスタープラン推進委員会 会議録  
\*\*\*\*\*

開催日時：2018年3月5日（月）15時30分～17時00分

開催場所：町田市庁舎3階 3-1会議室  
\*\*\*\*\*

出席委員：16名

傍聴人：1名

事務局：5名  
\*\*\*\*\*

【会議次第】

1. 開会挨拶
  2. あいさつ
  3. 議題
  4. その他
- \*\*\*\*\*

【議題】

1. 「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」  
における各施策の進捗状況について
  2. 「町田市地域公共交通会議」での検討状況について
- \*\*\*\*\*

【資料】

- 資料1-1：「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」  
における各施策の進捗状況について
  - 資料1-2：2017年度 町田市交通マスタープラン 各施策の進捗状況確認表
  - 資料1-3：町田市庁舎内にバス運行情報案内表示機の設置
  - 資料1-4：多摩境駅前広場にエレベーターを設置
  - 資料1-5：中心市街地歩行者占有道路区域における路上調査について
  - 資料1-6：南1801号線（町3・4・6号線）に自転車レーンを整備
  - 資料2：「町田市地域公共交通会議」での検討状況について
- \*\*\*\*\*

<開会挨拶>

省略

<議事>

1. 「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」における各施策の  
進捗状況について

[資料説明]

資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4、資料1-5、資料1-6について事務局による説明（省略）

## [意見等]

- (委員) 小山田桜台停留所に乗継拠点を整備すると説明を受けていたが、今回の資料では桜美林大学付近に停留所を整備することとなっている。従来の説明と整合性がとれていないのではないかと危惧してしまふ。また、桜美林大学付近に乗継拠点を整備するのであれば、具体的な実施計画はどのようになっているのか。
- (事務局) 「町田市便利なバス計画」において、2021年度までに桜美林大学付近に乗継拠点を整備することを定めている。現在、実施に向けた検討を進めている。
- (委員) 資料に時系列が記載されていないので、実現を期待している住民からすると実現可能性が低いのではないかと危惧してしまふ。住民の信頼感の醸成のためにも具体的な時系列を示してほしい。
- (事務局) 資料1-2に簡易的な程表を記載している。2018年度から検討を開始し、3か年程度で用地整備や関係各所との協議を進め、2021年度までに乗継拠点を整備したいと考えている。
- (委員長) 今のご質問は小山田桜台の整備計画は今後どうなるのかということだったと思うが、資料1-2の工程表には小山田桜台については記載しないのか。また、「町田市便利なバス計画」の策定時期を確認したい。
- (事務局) 2017年度に乗り継ぎ拠点化に向けた歩道改修工事を実施し、今後は団地間を結ぶ乗り継ぎ拠点化を図っていく。また、唐木田方面への実証実験を進めながら方向性を検討していく。桜美林大学付近については、桜美林学園がどこから学生を集めてどのように輸送するのかという意向もあるので、相談を受けながら協議を進めていく。具体的な時期の明示はできないが、詳細について今後検討していく。「町田市便利なバス計画」は2014年度策定。
- (委員) 忠生地区としては具体的な整備計画が見えてこないのが不満材料となっているので、可能な範囲で計画を「見える化」して頂けるとありがたい。
- (委員) 多摩都市モノレールの整備計画について、担当課の新設や導入空間の確保等、進捗のある部分については工程表に記載するべきではないか。
- (事務局) 多摩市からのルートについては東京都と検討中であり、ルートが決定していないので情報を提示するのは差し控えたい。
- (委員) 工事が進んでいる部分があると思うが、それについてはどうか。
- (事務局) 現在工事をしているのは都市計画道路の事業として元々計画決定している所。そこに重ねてモノレールが入ってくるかどうかは未決定である。
- (委員長) みちの使い方に関するアンケートをこのタイミングで行ったのはなぜか。歩行者占有区間に流入する荷捌き車両が増加しているのか。
- (事務局) 歩行者占有区間への流入は減少傾向にある。調査の背景としては、荷捌き場所の整備等のハード面での整備が進んでいないことから、ルールの徹底等のソフト面での対応を検討している。今回の調査はその検討資料とするもの。
- (委員) 町づくり部会を立ち上げて地元の方と協議を始めている。物販の店舗が減り、飲食店が増えたことで酒屋の車両の流入が増えてきている。地元の世代交代も進んでいることから、再度調査をしっかりと行い、現状を認識してから対応を検討しようと考えている。

- (委員長) ぼっぼ町田の最近の稼働率はどうか。
- (委員) 90社ほどが登録しており、稼働しているのはそのうち半数程度。
- (委員長) 小田急線の複々線化の工事は完了したということか。
- (事務局) 当初の構想から50年、工事着工から30年かかった。これで予定していた代々木上原⇄登戸間の工事が全て完了したことになる。
- (委員) 小田急線のダイヤ改正により多摩センター・唐木田方面が非常に便利になると思う。しかし、多摩センター・唐木田に東からアクセスする便が無く、多くの方が自家用車で送迎している。小田急線の利便性向上に併せて、多摩センター・唐木田へのバス路線の確保について総合的な計画が必要ではないか。
- (事務局) 町田市から多摩市へ向かう路線というのはバス事業者の都合もあり実現していないが、要望として事業者には伝える。
- (委員長) JR 横浜線町田駅4番線ホームのスマートホームドアについてご紹介頂きたい。
- (委員) 今回設置したものは、従来のものと比較して、コストを抑え、工期を短縮し、同等の機能を有したものであるということで試験的に導入した。現在、検証作業を行っており、なんとか形にできるものと考えている。今後は検証結果を踏まえて、国・町田市と協力してホームドア普及に努めていきたい。
- (委員長) 他の鉄道事業者もホームドア関連で取組を行っていただければご紹介頂きたい。
- (委員) 国土交通省が10万人以上の駅に優先して整備するよう指針を示している。小田急線町田駅は乗降人員が25万人おり、優先して整備していかなければいけないと考えている。ただ、特急車両と一般車両のドア位置が異なっており、ドア位置を揃えたり大開口タイプのホームドアを採用したりするなど、課題解決に向けて検討しているところである。町田駅については2022年度までに設置を完了する旨の計画を発表している。

## 2. 「町田市地域公共交通会議」での検討状況について

### [資料説明]

資料2について事務局による説明（省略）

### [意見等]

- (委員) タクシーのセダン車両で時刻を決めて1時間おきに運行するというのは、前例がありそうで無いことなので、実証実験段階ではあるが実現すると素晴らしいと考えている。
- (委員長) 相原駅からは午後2時が利用者数のピークとなっている。理由は何か。
- (事務局) アンケート等から推察するに、午前中に橋本駅から電車で買い物等に出かけ、帰ってくるのが午後2時くらいであると考えている。
- (委員) 荷捌き業務に関するアンケートの進捗状況の報告はいつ受けられるのか。
- (事務局) 2018年度に検討を進め、具体的な結果をお出しする。

### <その他>

特になし